

台風 18 号に係る盛岡市の対応状況について
(第 3 報：9 月 19 日 12 時現在)

平成 25 年 9 月 19 日
災 害 対 策 本 部

1 台風の概況

大型の台風 18 号の影響により、9 月 15 日早朝から断続的に雨が降り続き、盛岡市内（山王町）では降り始め（15 日 5 時）から 16 日 21 時までの総雨量は 85.5 ミリとなったほか、玉山区好摩では、16 日 16 時 05 分に最大 1 時間雨量 42.0 ミリ（9 月の観測史上最大）を観測するなど大雨となった。

2 被害の状況

(1) 人的被害

無し

(2) 停電の状況

市内の複数の地区において、停電が発生した。

- ・新庄，浅岸地区 168 戸（復旧済み）
- ・上堂一・三丁目，高松四丁目地区 153 戸（復旧済み）

(3) 通信の状況

N T T 東日本岩手支店によると 9 月 18 日 10 時現在，古川橋，石花橋，川崎橋付近で約 70 世帯不通

携帯電話については，一部繋がりにくい箇所が発生している。

(4) 建物等被害

区 分	被 害 の 状 況
住家等被害	床上浸水 71，床下浸水 16，一部損壊 4（強風による屋根破損） ほか調査中
商工関係施設被害	半壊 3，土砂流入 2，浸水 2 ほか調査中
市有施設等被害	雨漏り 2，その他 1 ほか調査中
民間福祉施設	床上浸水 1 ほか調査中
道路等被害	冠水 13，法面崩壊 4，倒木 12 ほか調査中
農地被害	田法面崩壊 345，田土砂流入 605 ほか調査中
畜産関係被害	牛（死亡）成牛 2 頭，牛（行方不明）子牛 3 頭，ロール 250 個，牧草地冠水 3 h a，牛舎半壊 1 棟，作業機械全損 8 台
上下水道施設被害	配水管拔出し 1，その他 5 ほか調査中
土砂崩れ・土砂流出	玉山区下田地区内 ほか調査中
河川・水路溢水	2 ほか調査中
河川施設被害	土砂堆積 1 ほか調査中
水路施設被害	土砂堆積，水路破損等 1
その他施設被害	倒木 4，その他 8，教育施設 5

3 市の体制

8月9日の大雨・洪水被害に伴う災害対策本部が継続設置されていたことから、次のとおりの態勢を取った。

- ・9月16日6時23分 大雨・洪水警報の発表に伴い、同時刻に今回の災害に対する初期の警戒態勢をとった。
- ・9月16日16時00分 被害の拡大が予想されることから災害対策本部（警戒配備）とした。

4 避難対応

(1) 避難勧告

発表日時	対象地区	対象世帯	対象人員	解除日時
9月16日16時00分	繋湯ノ館, 館市, 塗沢	216	417	9月16日18時30分
9月16日17時34分	玉山区松内字在家	7	30	9月16日23時41分
9月16日18時00分	玉山区川崎字上川崎	16	66	9月16日22時45分
	玉山区川崎字川崎	14	40	

(2) 避難所の開設状況

避難所名	最大避難者数	備考
つなぎ老人憩いの家	—	繋小学校の避難所開設まで暫定的に設置
繋小学校	8名	9月16日18時30分閉鎖
松内地区コミュニティセンター	27名	9月18日18時00分現在避難者 4名
洪民地区コミュニティセンター	—	避難者無し
玉山総合福祉センター	26名	9月18日8時30分閉鎖
大台地区コミュニティセンター	31名	9月18日18時30分閉鎖
小袋地区コミュニティセンター	30名	9月18日18時30分閉鎖
山田地区コミュニティセンター	10名	9月18日8時30分閉鎖
下田川崎地区コミュニティセンター	12名	9月18日18時00分現在避難者 12名
喜雲寺	17名	9月18日閉鎖 ※自主避難
浄泉寺	10名	9月18日閉鎖 ※自主避難

(3) 避難所への対応

各避難所へ職員を配置し、運営に当たるとともに、備蓄の食料、毛布、水等を提供した。

(4) 帰宅困難者への対応

秋田新幹線が一時運休したことに伴い、アイーナへの帰宅困難者の避難所開設の準備を進めたが、代替運行の実施により避難所の開設は行わなかった。

5 応急給水

玉山区の好摩, 永井, 巻堀, 寺林, 松内, 馬場地区の1,600世帯で水圧の低下により、水道の出が悪くなったことに伴い、「好摩駅」と「野中団地」に臨時給水所を設置した。(21時30分頃応急対応により解消)

6 消防団の活動

盛岡市消防団全分団に出動又は待機要請し、救助活動及び土のう要請や水のあふれ等に対する水防活動に従事した。

7 自衛隊への災害派遣要請

9月16日19時35分岩手県知事に対し自衛隊の災害派遣要請を行い、玉山区下田地区において消防・警察とともに救助活動が実施された。

また、9月17日0時35分救助活動終了のため、撤収要請を行った。

8 救助活動

玉山区内において、浸水した家屋等に取り残された住人の救助活動を消防、警察、自衛隊により実施した。

救助人員の内訳は次のとおりである。

- 玉山区好摩字小袋地内 10名
- 松川・古川橋上 4名
- 玉山区松内字在家地内 6名
- 小計 20名

- 玉山区下田
- 下田保育園周辺 121名
- 合計 141名

9 防疫作業の実施

被災地域における感染症の発生を未然に防止するため、床上浸水世帯及び床下浸水世帯等に対して、消石灰・消毒液・消毒のチラシを配布するなどの防疫措置を実施している。

また、災害応援ボランティアに対してマスク及び手指消毒薬の提供を行っている。

10 災害ボランティアセンターの支援状況

9月17日（水）12：00 盛岡市災害ボランティアセンター玉山サテライトを玉山区総合福祉センターに設置した。

(1) 運営主体 盛岡市社会福祉協議会

(2) 活動日程 9月18日～

(3) 活動内容 泥上げ、がれきの撤去など

(4) 活動実績 9月19日まで延べ2日間総勢38名のボランティアが参加した。

11 災害により発生した廃棄物の処理

9月17日に臨時ゴミ集積所を開設し、松内、大台、下田川崎、小袋、船綱の各地区にチラシなどにより住民に周知した。

なお、災害により発生した廃棄物を岩手・玉山清掃事業所に持ち込んだ場合は、廃棄物処理手数料が免除となる。